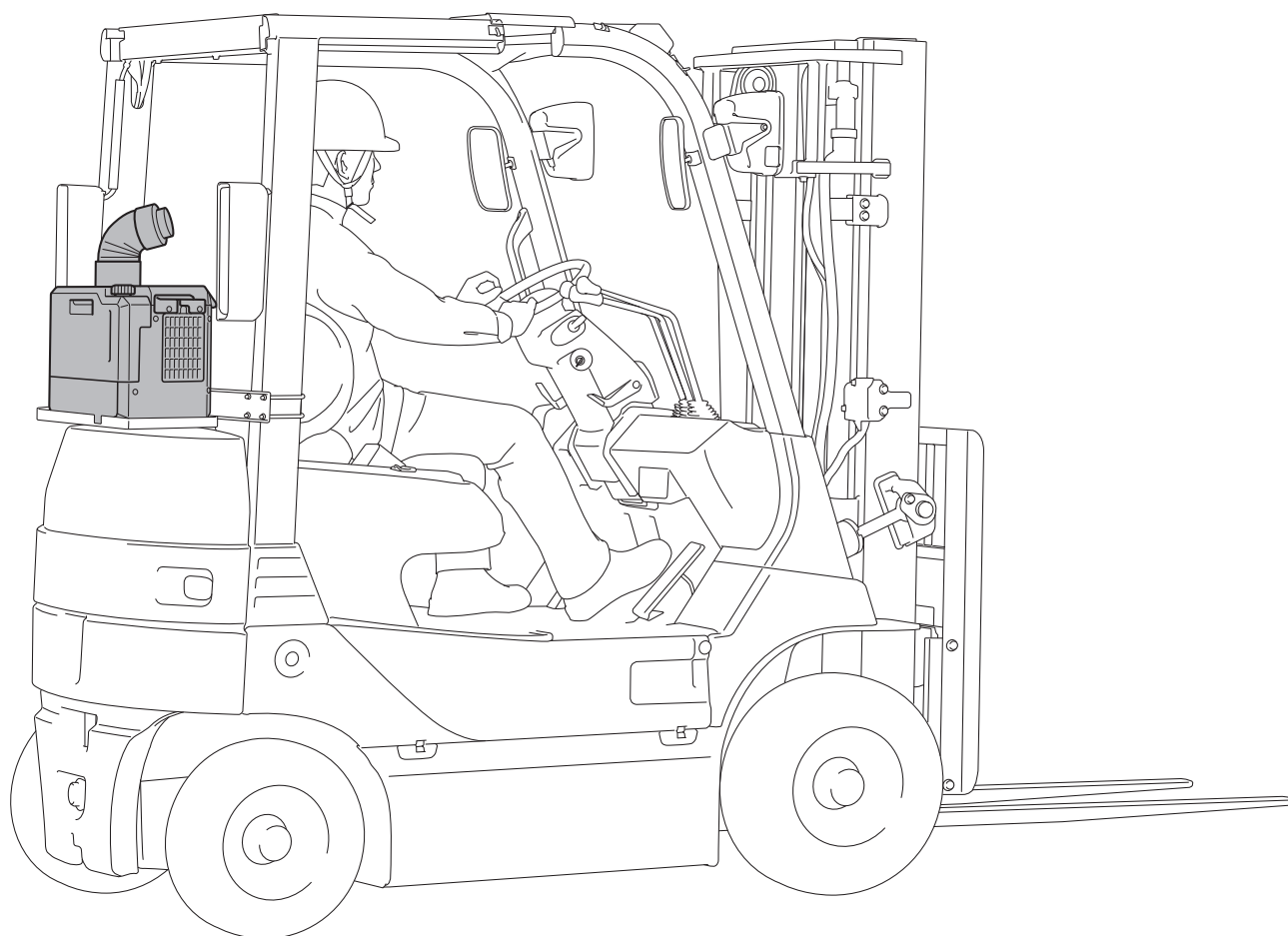


産業車両用フロンレススポットクーラー

PD-3100

ユーザーズガイド



このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございます。




本製品をお使いいただく前に、本書をお読みください。











本書はなくさないように注意し、いつでも手に取ってみることができるようにしてください。

本書のみかた

この安全ガイドには、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を記載しています。





その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容を示しています。
重要	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害の可能性のある内容を示しています。
お願い	ご使用していただく上での注意事項、制限事項などの内容を示します。
 補足	本製品の操作手順に関する補足情報を説明しています。





	「火災の危険があること」を示しています。
	「感電の危険があること」を示しています。
	「してはいけないこと」を示しています。
	「火気に近づけてはいけないこと」を示しています。
	「さわってはいけないこと」を示しています。
	「分解してはいけないこと」を示しています。
	「水場で使ってはいけないこと」を示しています。
	「しなければならないこと」を示しています。
	「回転体への接触や巻き込まれの危険があること」を示しています。
	「火傷の危険があること」を示しています。

安全にお使いいただくために


電源や機器の配線について

⚠ 警告	
	<p>本製品の電源スイッチを切る際は必ずフォークリフト等、本製品を接続する車両のキースイッチを切った状態で行ってください。劣化や故障により、火災の原因となります。</p>
	<p>本製品を清掃するときは、必ず本製品の電源スイッチを切った状態で行ってください。火災の原因となります。</p>
	<p>電源が本製品の消費電力または入力電圧に適合することを確認してください。不適切な動力源を用いると故障や火災の原因となります。</p>
	<p>特定の車両において、定格電圧が入力電圧範囲内でも走行時に入力電圧範囲を上回る高電圧のパルスが出力されることがあります。本製品に高電圧のパルスが入力されると、電源の故障の原因となります。 高電圧のパルスが出力される車両において使用する場合は、電源ラインに対策部品を入れた上で入力電圧範囲内に収まっていることを確認の上で使用ください。</p>
	<p>電源コードや電源接続部は定期的に点検し、発熱・錆び・曲がり・擦れ・亀裂等の損傷がないかどうか確認してください。損傷した状態で使用し続けると、火災の原因となります。</p>
<p>長時間使わないときは本製品の電源スイッチを切ってください。絶縁劣化による漏電火災の原因となります。</p>	
	<p>電源は DC12～55V をご使用ください。AC 電源やインバーター (DC-AC 変換装置)、出力電圧が本製品の定格電圧範囲外のコンバーターを接続して使用しないでください。誤った電源を入力すると火災、感電の原因となります。本製品を接続する電源が AC 電源または DC 電源のどちらかわからないときは、電気工事資格をお持ちの方にご相談ください。</p>
	<p>電源コネクタの脱着は必ず本製品の電源スイッチを切った状態で行ってください。火災や感電の原因となります。</p>
	<p>電源コードは無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重いものを載せたり、加工したりしないでください。電源コードの破損により火災の原因となります。</p>





このような使い方はしないで

⚠ 警告	
	<p>本製品、電源コード、電源接続部に水をかけたりしないでください。漏電による火災の原因となります。</p>
	<p>火気の近くや火花の飛び散る恐れのある場所で使用しないでください。本体の変形や火災の原因となります。</p>
	<p>溶鉱炉の付近など水の使用が禁止されるエリアでは使用を控えてください。本製品は水を使用する製品ですので、溶鉱炉の付近などで使用すると、水蒸気爆発等により火災や怪我の原因となります。</p>
	<p>可燃性ガスの発生、滞留及び漏れの恐れのある場所、カーボンや金属などの導電体の粉塵が発生する場所では使用しないでください。火災の原因となります。</p>
	<p>電源コードを温度の高い表面に接触させないでください。電源コードの劣化等により火災の原因となります。</p>
<p>動作保証温度の範囲外で使用しないでください。火災・故障の原因となります。動作保証温度の範囲は次のとおりです。温度：15～45℃</p>	
	<p>子供の手が届かない安全な所でご使用ください。怪我の原因となります。</p>






このような使い方はしないで (つづき)

重要	
	機械油やシリコン油などを製品の吸気口から吸わせないでください。 製品内部の部品が水を弾くようになり水漏れの原因となります。
	ダクトに無理な力をかけないでください。想定以上の力をかけるとダクトが破損する恐れがあります。 ダクトを操作する際は、ダクトベースを支えながら適切な力加減で吹出口の位置を変えてください。
	ダクトの中にものを落としたり、棒などを入れないでください。 内部部品を傷めたり、故障の原因となります。
	本体上及びその周辺に、製品以外のものを置かないでください。落下や破損の原因となります。
	結露する環境では使用しないでください。故障の原因となります。
	急発進、急停止、急旋回するような用途での使用はしないでください。 製品外への水漏れの原因となります。
	給排水キャップにある開口部は空気を取り入れる口ですので、テープ等でふさがないようにしてください。 ふさいだ状態で使用すると給水タンクが破損します。 また、開口部が粉塵やオイルミスト等で汚れた状態で使い続けしないでください。汚れがひどい状態で使い続けると給水タンクが破損する恐れがあります。





もしもこんなときは



 警告	
	異常な音が出たり、煙が出たり、熱が出たり、異臭が出たときは、すぐに本製品の電源スイッチを切って、お買い求めの販売店、または弊社にご相談ください。そのままご使用になると、火災の原因となります。また、お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
	本製品に物を衝突させたり、破損したときは、すぐに本製品の電源スイッチを切って、お買い求めの販売店、または弊社にご相談ください。そのままご使用になると、火災の原因となります。 本体内部に異物が入った場合は、すぐに電源スイッチを切って、お買い求めの販売店、または弊社にご相談ください。 ・クリップやホチキス針などの金属・ネックレスや指輪などの貴金属 ・水、薬品、動物の尿などの液体
	雷鳴時は屋外での作業には使用しないでください。感電、火災の原因となります。

その他のご注意

 警告	
	分解や改造はしないでください。火災の原因となります。
	火気を近づけないでください。火災の原因となります。
	弊社推奨の架台を用いる場合は、架台の取扱説明書に従い、利用の際は確実に取付架台のロックをしてください。ロックが不十分だと、取付架台が動き、怪我の恐れがあります。 本製品が取付可能な車両の種類が不明な際は弊社までご確認ください。 梱包袋はすぐに廃棄してください。誤って幼児がかぶると窒息の恐れがあります。
	電源コードコネクタ部を踏んだり、叩いたり強い衝撃を加えないでください。感電、火災の原因となります。

その他のご注意 (つづき)

⚠ 注意	
	排気口や吹出口に指や棒などを絶対に入れないでください。回転部に触れて怪我をする恐れがあります。
	本製品の電源スイッチを切ってからメンテナンスカバーを開けてください。製品内部でファンが回転しており、ファンに指を巻き込む恐れがあります。
	炎天下で放置すると本製品の筐体や手掛部が熱くなります。火傷の恐れがあるのでご注意ください。
	本製品の手掛部が破損した場合は直ちに使用を中止してください。落下のリスクがございます。
	取付架台に本製品を固定する際は、メートルねじを使い、指定のトルク (8 N・m) で取り付けるようにしてください。 誤ったトルクで固定すると落下のリスクがございます。

重要	
	換気設備の十分な空間でご使用ください。狭い密閉された空間で使用すると湿度が上がり、冷却能力が発揮できないだけでなく、周辺の金属器具に湿気による錆などを発生させる可能性があります。
	吸気口はふさいだり近くにものを置かないようにしてください。吸気口を壁面やその他の障害物に近づけすぎると、風量不足となり、性能低下の可能性があります。
	本体は水平 (0.5°以内の傾き) に保ってください。製品が傾いた状態で使用すると製品外に水が漏れる可能性があります。
	水道水をご利用ください。井戸水、工業用水を使用すると、臭気発生の原因となります。臭いが気になる場合は使用後に乾燥運転を推奨します。
	フォークリフト等、本製品を接続する車両の移動の際は、本体、給水タンク、ダクト、及び取付架台のロックレバーなどの部品をしっかりと固定してから移動させてください。
	本製品のすべての部品は、当社純正部品を使用してください。
	雨の中で放置した場合、排水口から水を抜いてから使用してください。水漏れの原因になります。
	稀に初期状態から冷却エレメントの吸水性が悪いことがあります。冷えが悪いと思ったら、冷却エレメントを取り出してバケツ等で吸水させてから使ってください。
	シーズンオフに本製品を長期間使用しない場合は、ユーザーズガイドに記載の保管方法に従ってください。
	吹出口及び排気口からの冷却は湿気を帯びているため、前方には錆びやすいものを置かないでください。
	使用環境を確認の上ご使用ください。 環境に舞う粉塵やミストの種類によっては、製品が破損し、故障や水漏れにつながる恐れがあります。
	本製品の上に物を置かないでください。
	本製品に貼られている製造番号が記載されたラベルは、はがさないでください。 エアフィルター、インラインフィルター、給水フィルター、熱交換器、冷却エレメントが揃っていない状態では本製品を使わないでください。

その他のご注意 (つづき)

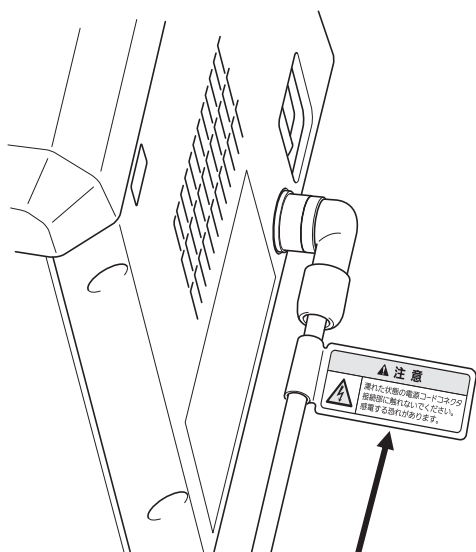
重要

本機には、下表のような警告ラベルが表示されています。
各警告ラベルの内容を十分理解し、記載事項を守って作業を行ってください。
また、警告ラベルは、はがれたり、傷ついたりしないよう十分注意してください。
万一ラベルがはがれていたり、読みとれなくなった場合は速やかに弊社にご連絡ください。
なお、警告ラベル取り付け位置は、以下に示してあります。

▲ 注意



濡れた状態の電源コードコネクタ
接続部に触れないでください。
感電する恐れがあります。

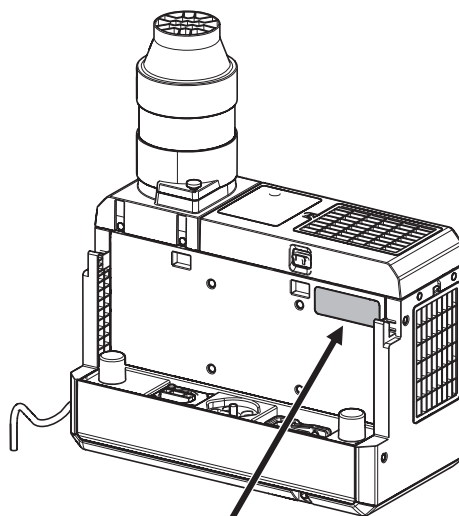


警告ラベル貼り付け位置

▲ 注意



製品内部でファンが回転しており、
ファンに指を巻き込む恐れがあります。
電源を切ってからメンテナンスカバー
を開けてください。



警告ラベル取り付け位置

▲ 警告

以下の環境では使用しないでください。火災の原因となります。



- ・ 溶鉱炉の付近など水の使用が禁止される環境。
- ・ 可燃性のガスやミストが舞う環境。
- ・ カーボンや金属等の導電性の粉塵が舞う環境。
- ・ 火気の近くや火花が飛び散る環境。

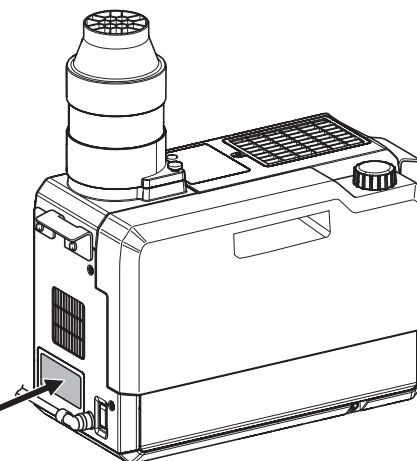
重要

使用環境を確認のうえご使用ください。環境に舞う粉塵やミストの
種類によっては、製品が破損し、故障や水漏れにつながる恐れがあります。

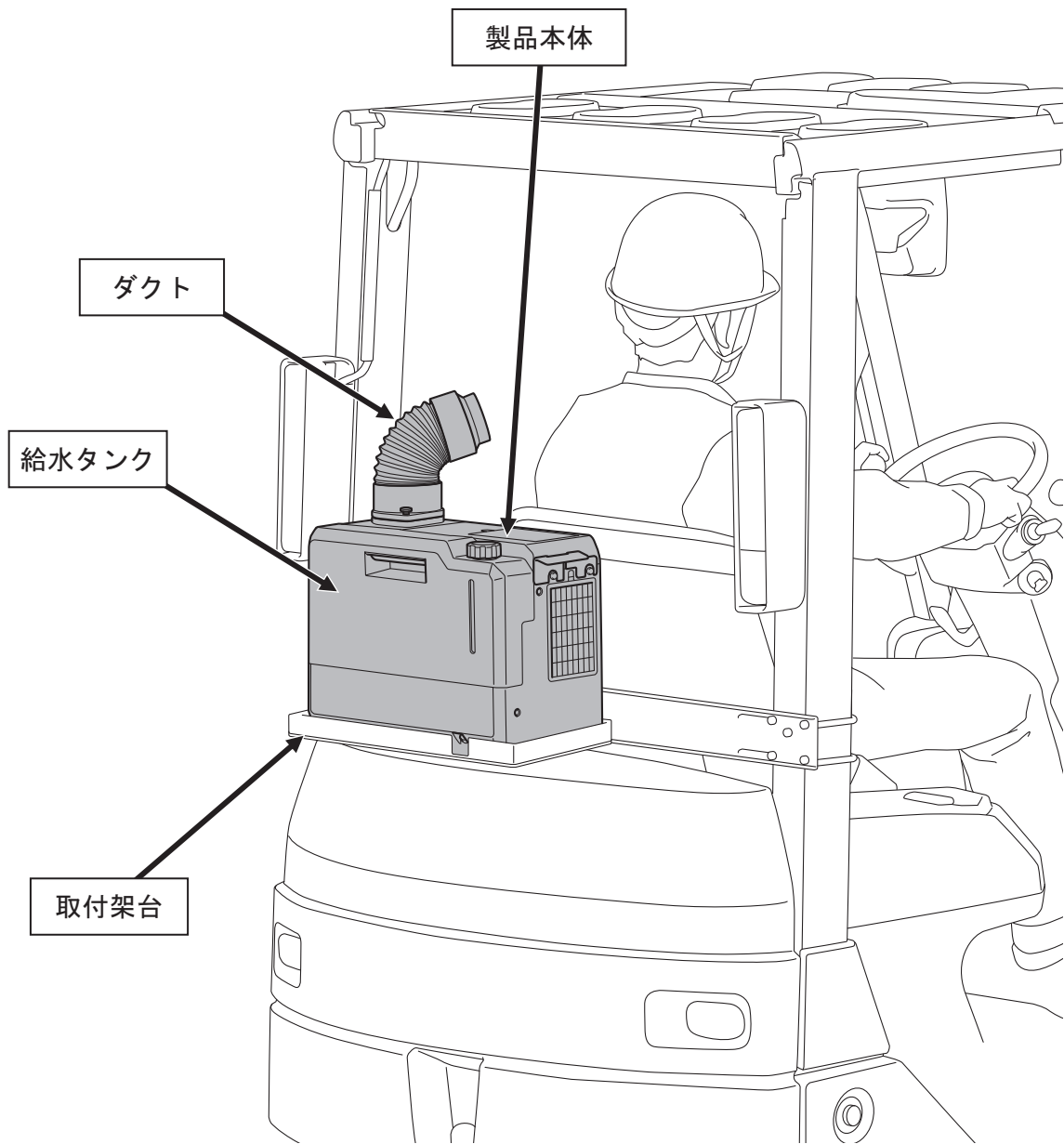
お願い

水が入った状態で製品を傾けたり倒したりしないでください。
製品外に水が漏れます。

警告ラベル貼り付け位置



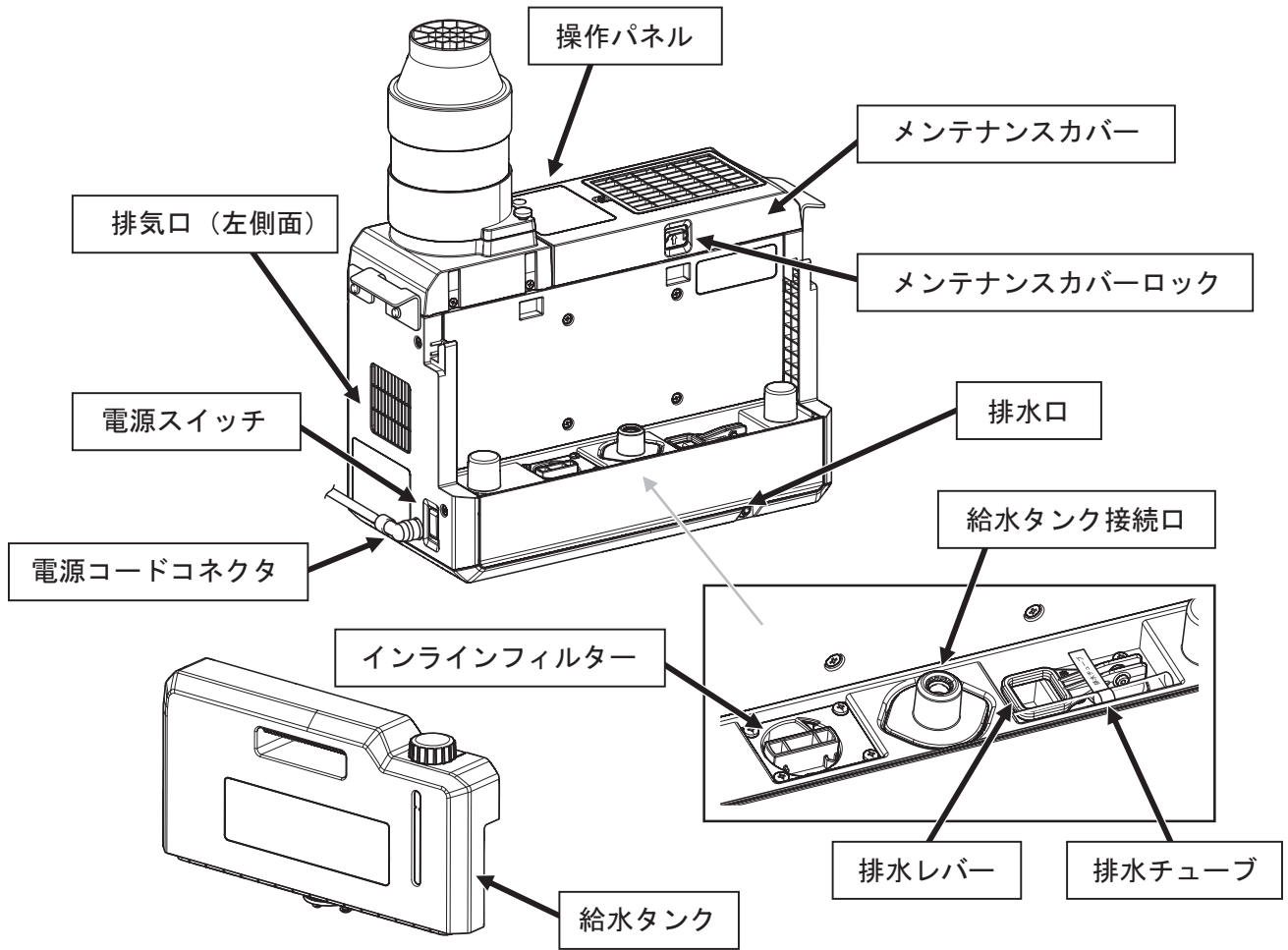
各部の名称



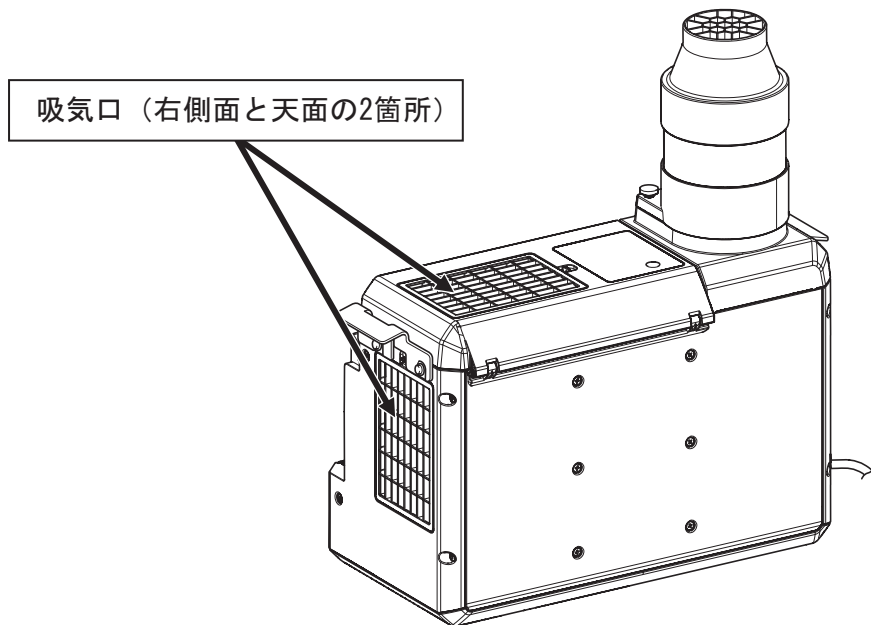
各部の名称

【製品本体】

正面

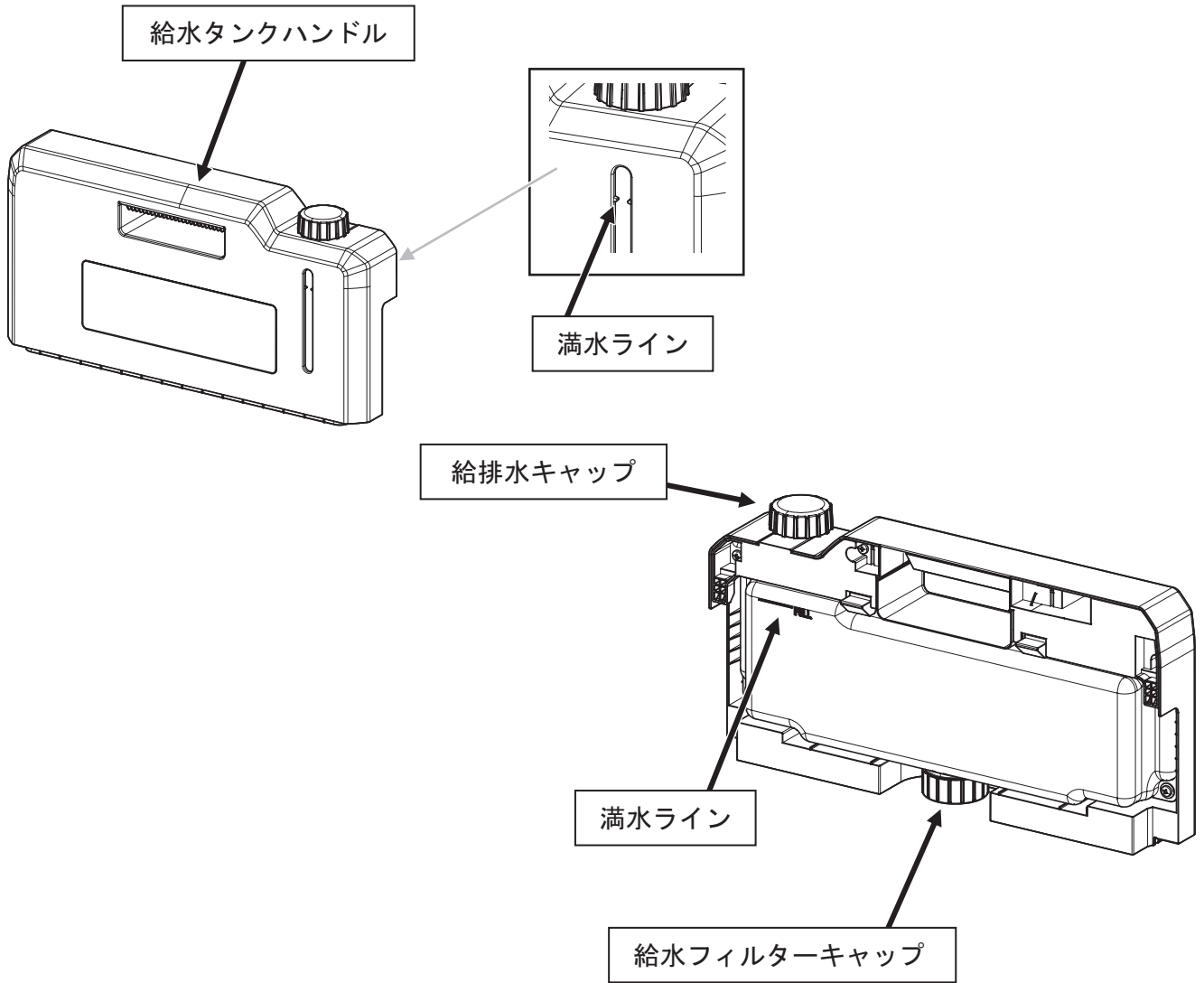


背面

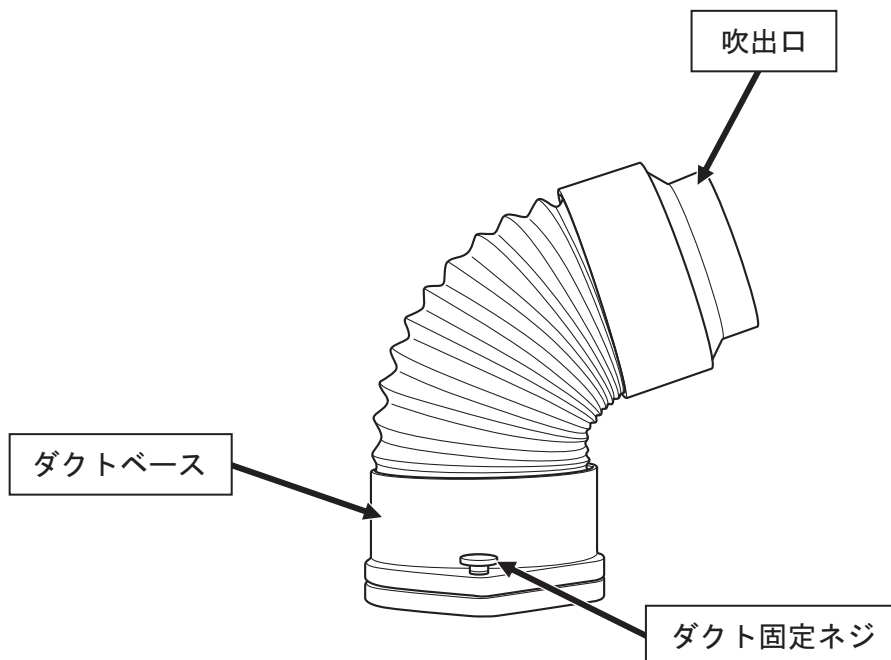


各部の名称

【給水タンク】



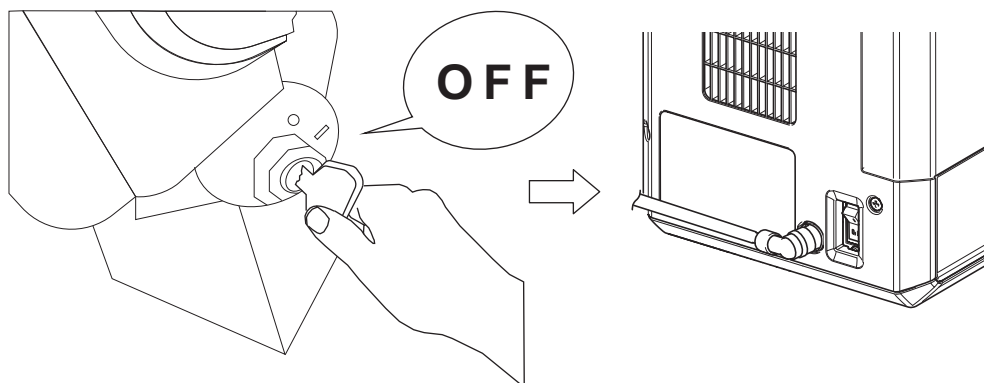
【ダクト】



1. 使用前に知ってほしいこと

電源の ON-OFF

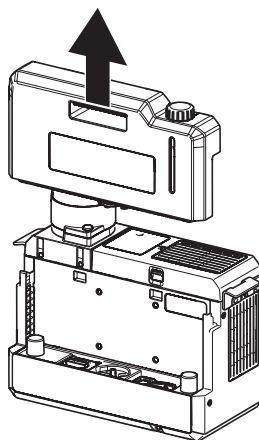
【フォークリフト等、本製品を接続する車両のキースイッチを切った状態で本製品の電源スイッチを ON する】



給水方法

【給水タンクを取り外して給水するとき】

1. 給水タンクハンドルを握り、ハンドルロックを解除する。
2. そのまま矢印方向に引っ張り、本体から給水タンクを取り外す。

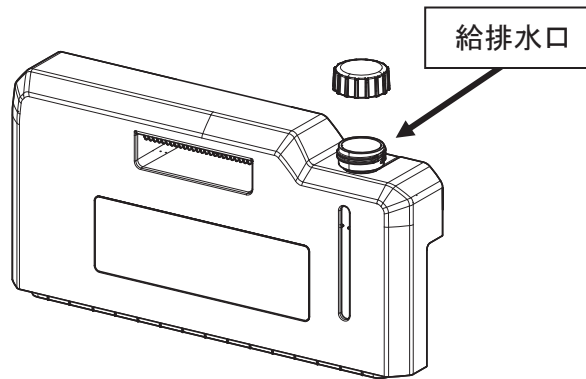


重要

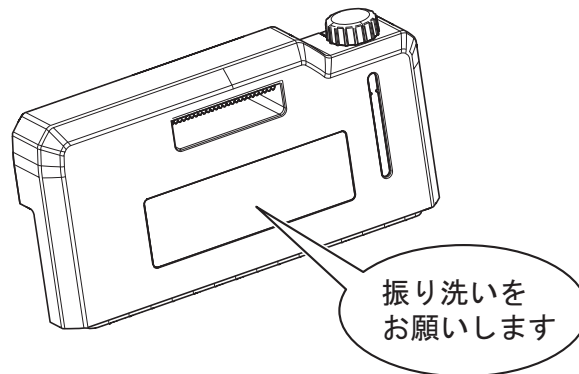
本体から給水タンクを取り外す場合は、フォークリフト等、本製品を接続する車両のキースイッチ OFF の状態で取り外してください。フォークリフト等、本製品を接続する車両のキースイッチ ON の状態で給水タンクを取り外すと、給水タンク接続口から本体にゴミや埃等が入り、故障につながる可能性があります。

給水方法 (つづき)

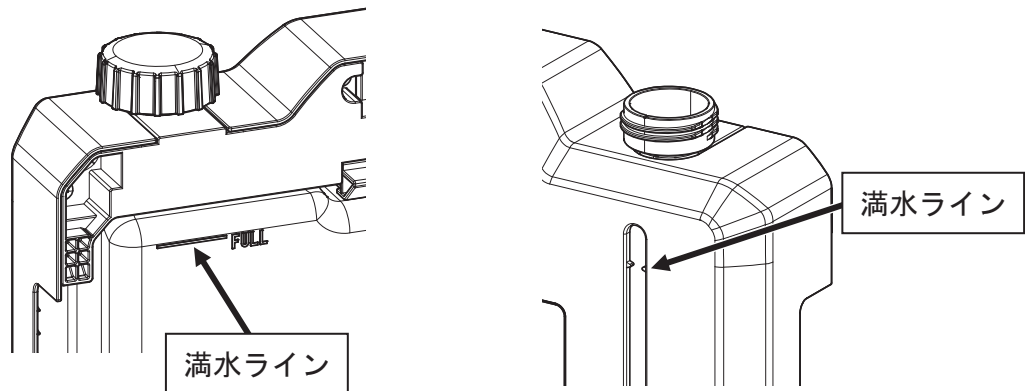
3. 給水タンクの給排水キャップを外す。



4. 給水タンクに少量の水を入れてキャップをした後振り洗いをする。



5. 給水タンクを振り洗いしてから、平らな所に置き水道水（飲用）を満水ラインまで給水する。



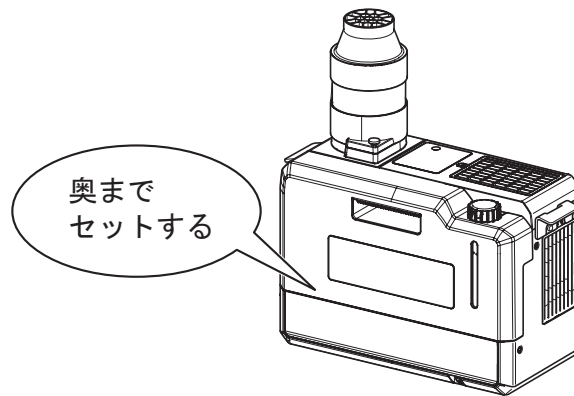
6. 給水タンクの給排水キャップを確実に閉める。

重要

給排水キャップには通気口があります。通気口は塞がないでください。通気口が塞がった状態で使用すると、故障につながる可能性があります。

給水方法 (つづき)

7. 給水タンクを本体にセットする。

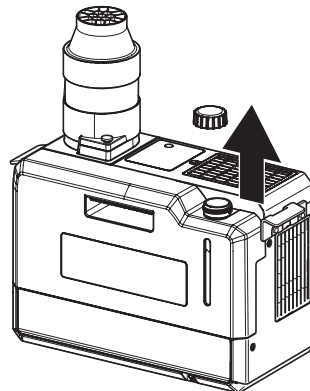


お願い

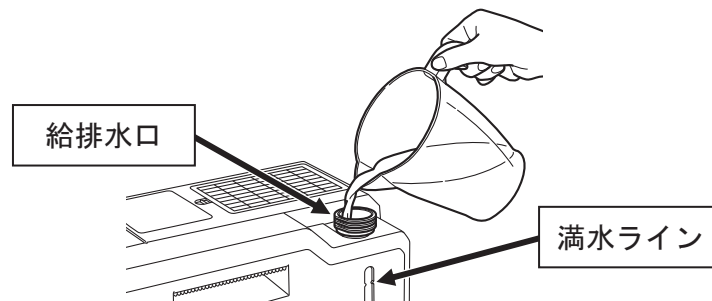
タンクを激しく振り洗いすると、タンクキャップの通気口から水があふれる可能性がありますのでご注意ください。本体に給水タンクをセットする際は、必ず奥までセットされていることを確認してください。水が漏れ出す恐れがありますので、給水タンクに水を入れた状態で横倒しにして放置しないでください。

【給水タンクを取り外すことなく給水するとき】

1. 給水タンクの給排水キャップを取り外す。



2. 容器などを使い満水ラインまで水を注ぐ。



3. 給排水キャップを確実に閉める。

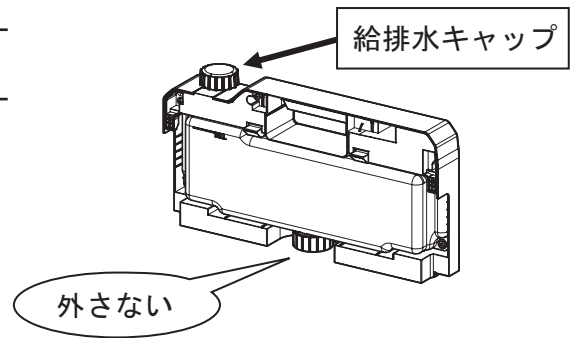
排水方法

【給水タンクの水を排水するとき】

1. 給水タンクを本体から取り外す。
2. 給水タンクの給排水キャップを外す。
3. 給水タンクの給排水口を下に向けて排水する。
4. 給排水キャップを確実に閉める。

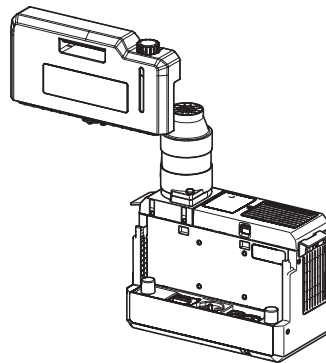
お願い

排水する際は必ず給排水キャップを外して排水してください。

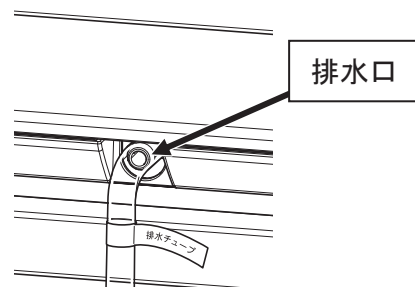
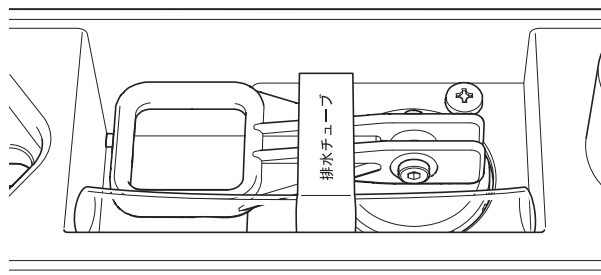


【本体の水を排水するとき】

1. 給水タンクを本体から取り外す。

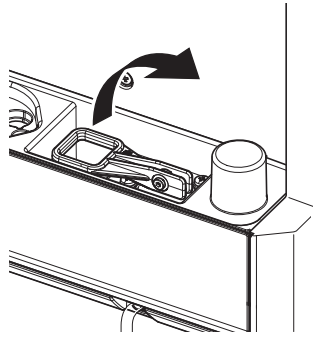


2. 本体正面下部にある排水口に排水チューブを差し込む。



排水方法 (つづき)

3. 本体の排水レバーを引き上げて排水する。



4. 本体の排水レバーを元の位置に戻す。
5. 給水タンクを本体にセットする。

お願い

運転終了時には必ず給水タンクと本体の水を排水してください。排水せずに使い続けると、製品内の水が濃縮され、水の変色や泡の発生、スケール発生等の原因となります。

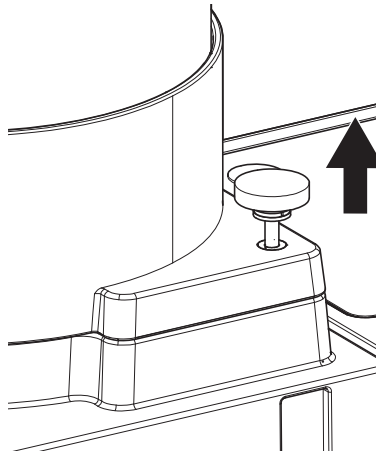
毎日連続して使用しない場合は、乾燥運転を行い本体内部を乾燥させてください。

給水タンクや本体内部の水をそのまま放置すると、腐敗や微生物増殖などにより、異臭発生の原因となります。

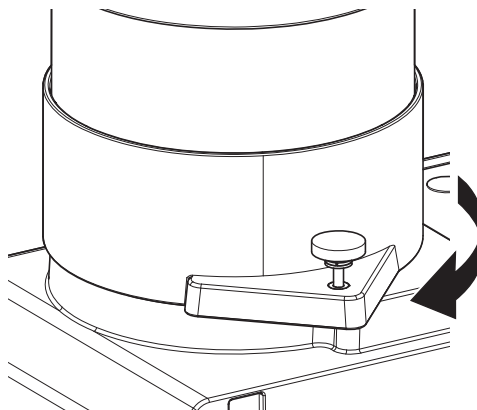
ダクトの交換方法

【ダクトを取り外すとき】

1. ダクトのダクト固定ネジを緩めて持ち上げる。

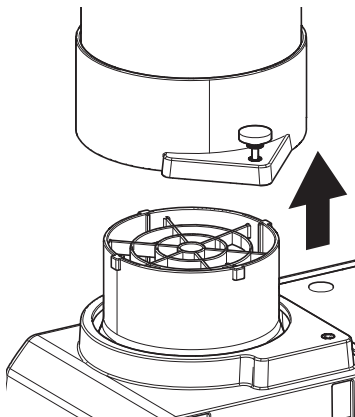


2. ダクト固定ネジを持ち上げた状態でダクトを矢印方向に回す。



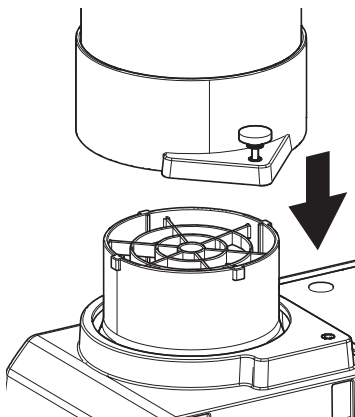
ダクトの交換方法 (つづき)

3. ダクトを上方向に引き抜く。

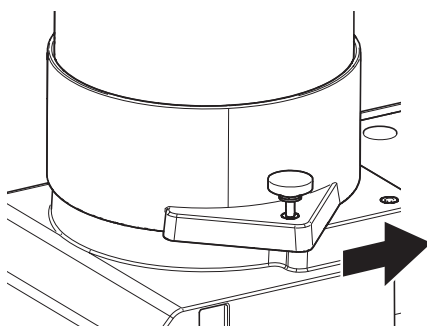


【ダクトを取り付けるとき】

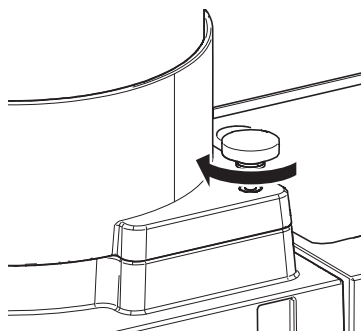
1. ダクトを製品本体に差し込む。



2. ダクト固定ネジを持ち上げた状態で、本体側のネジ穴に合うまでダクトを矢印方向に回す。



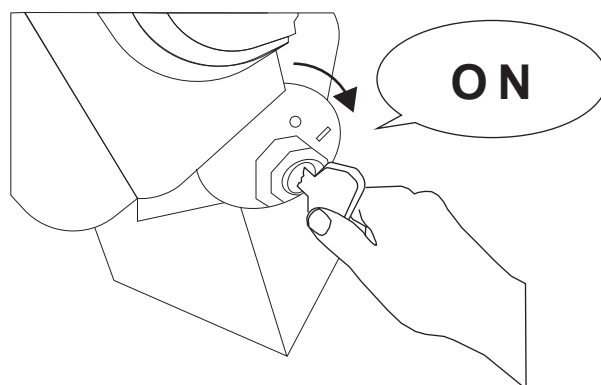
3. ダクト固定ネジを止まるまで回す。



2. まずは使ってみましょう

運転を開始するとき

本製品の電源スイッチを ON にした状態で、フォークリフト等、本製品を接続する車両のキースイッチを回すと、スポットクーラーに電力が供給され運転を開始し、冷風が出始めます。



補足

使用環境によっては運転を開始してから冷風が出始めるまでに時間を要する場合があります。

風量の調整

製品天面にある操作パネルの風量ボタンを押して、「強」「中」「弱」いずれかを選んでください。

状態と対応策	●点灯	✧点滅	○消灯
改善しない場合は取扱説明書をご確認ください。	電源	給水	弱 中 強
給水タンク空 タンクに給水後、風量ボタンを1回押すとLED点滅が解除されます。	●	✧	設定風量が点灯
カバーオープン 天板のカバーを開け直してください。	✧	○	○ ○ ○
水経路異常 給水タンクを外した面の左側の緑色部品を引き抜き、清掃してください。	✧	○	✧ ○ ○
その他異常 お買い求めの店舗にご連絡ください。	✧	○	✧ ✧ ✧

給水

 電源

弱 中 強

○ ○ ●

● 風量



補足

運転開始時は、前回使用時に設定した風量にて動作します。初期設定風量は「弱」となっています。

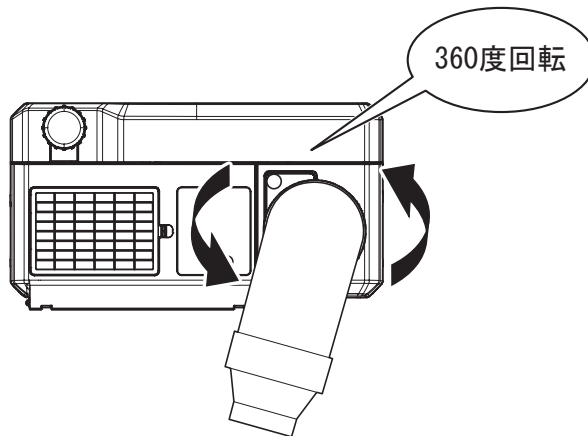
風向きの調整

吹出口を持って、お好みの長さや角度、位置にダクトを調整してお使いください。

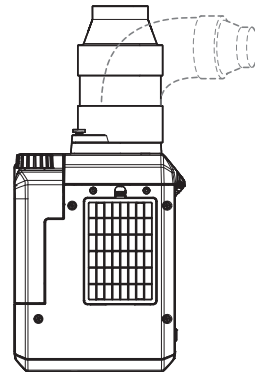
【水平方向】 360°自在に回転させることができます。

【上下方向】 ダクトは垂直方向から水平方向に 90°までで自在に曲げることができます。

【水平方向】



【上下方向】



重要

- ダクトに無理な力をかけないでください。想定以上の力をかけるとダクトが破損する恐れがあります。ダクトを操作する際は、ダクトベースを支えながら適切な力加減で吹出口の位置を変えてください。
 - ダクトの中にものを落としたり、棒などを入れないでください。内部部品を傷めたり、故障の原因になります。
-

給水のタイミング

冷風運転時に給水タンクの水がなくなると、操作パネルの給水ランプが点滅します。

給水タンク内の水がなくなった場合は、フォークリフト等、本製品を接続する車両のキースイッチを切ってから給水してください。



補足

- ON の状態ならば、給水タンクが空の状態でも風が出続けます。
 - 本製品の電源スイッチが ON の状態にて給水タンクに給水後、風量ボタンを 1 回押すと操作パネルの LED 点滅が解除されます。
-

運転を停止するとき

フォークリフト等、本製品を接続する車両のキースイッチを切ると、スポットクーラーへの電源の供給が断たれ動作が停止します。

乾燥運転の方法

給水タンクの水を空にした状態でスポットクーラーを運転させることで乾燥運転をすることができます。

お願い

毎日連続して使用しない場合は、一日の運転の最後に、乾燥運転を実施することを推奨します。

冷風モードで使用した後、乾燥運転をせずに終了をすると、本体内部が乾燥しないため、雑菌の繁殖により臭いの原因になることがあります。

3. お手入れのしかた

お願い

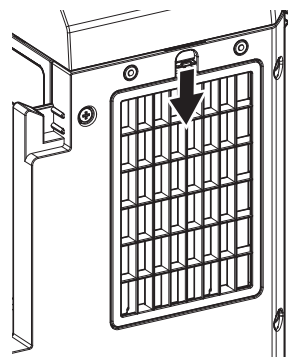
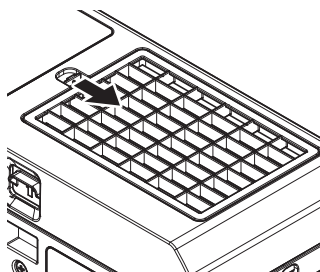
- エアフィルター、冷却エレメント、熱交換器の汚れ状況を見ながら適宜行ってください。汚れが酷い状態で使い続けると、負荷が増加して消費電力が増加する可能性があります。
- 外観汚れが気になる方はメラミンスポンジ等でこすって汚れを取ってください。
- 早めに清掃すれば、汚れは簡単に取り除け、冷却能力も維持されます。
- 少なくともシーズンのはじめと終わりには必ず実施してください。
- メンテナンスカバーを開ける際はタンクを取り外した状態で行ってください。
- 冬季等の長期間使用しない時期においても、定期的に試運転することを推奨します。

■ 清掃頻度の目安

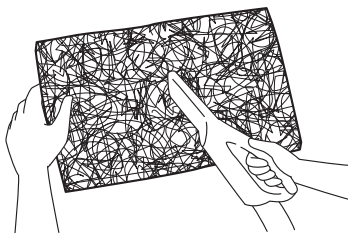
項目	清掃頻度の目安
給水タンク及びドレンパン内の残水の排水	毎日
エアフィルター	1週間に1回
冷却エレメント	2週間に1回
熱交換器	2週間に1回
給水フィルター	2週間に1回
インラインフィルター	2週間に1回

給排気エアフィルターのお手入れ

1. エアフィルターカバーのつめをつまみ、矢印方向に押しながら引っ張り、エアフィルターカバーを取り外す。



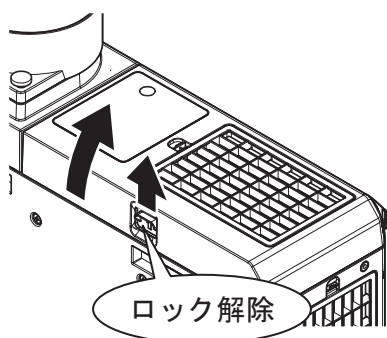
2. エアフィルターカバーからエアフィルターを取り外す。
3. エアフィルターの埃を掃除機で吸い取るか、水またはぬるま湯でよく洗う。
(汚れがひどい場合には中性洗剤を使用してください。)



4. 洗浄した後は水でよくすすぎ、乾燥後元どおりに取り付ける。

冷却エレメント、熱交換器のお手入れ

1. メンテナンスカバーのロックを外し、メンテナンスカバーを開く。

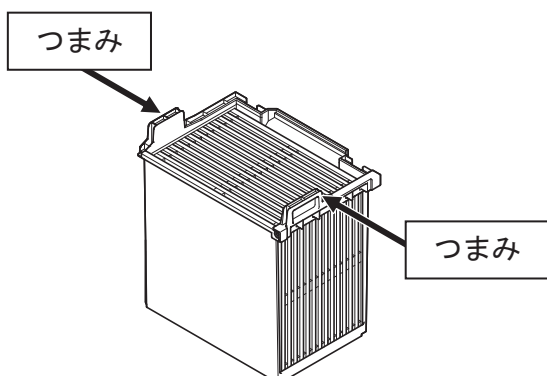


⚠ 注意

本製品の電源スイッチを切ってからメンテナンスカバーを開けてください。
製品内部でファンが回転しており、ファンに指を巻き込み、怪我の恐れがあります。

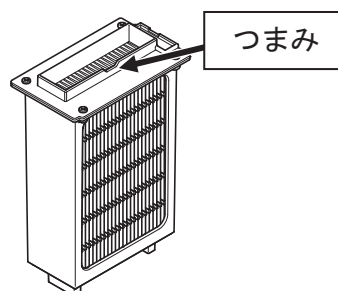
2. 熱交換器のつまみを持ち、
上方向に引っ張り、
熱交換器を取り出す。

【熱交換器】



3. 冷却エレメントのつまみを持ち、
上方向に引っ張り、
冷却エレメントを取り出す。

【冷却エレメント】



4. ぬるま湯（40℃以下）に、下記の「■汚れの種類別推奨洗浄方法」の内容に従い冷却エレメント、熱交換器を約30分浸ける。

重要

- 濃度が濃いと、部品破損の原因になります。
- 汚れが取れにくいときは、浸け置き時間を長く（最長2時間）してください。

■汚れの種類別推奨洗浄方法

油污れ・・・中性洗剤 10Lあたり大さじ3杯(30g)

粉塵汚れ・・・中性洗剤 10Lあたり大さじ3杯(30g)

※付着した粉塵の種類によっては完全に切り取れないことがあります。

水垢等汚れ・・・クエン酸 10Lあたり大さじ6杯(60g)

※重曹と同時に使用しないでください。中和反応により洗浄効果が得られません。

臭い・・・重曹 10Lあたり360g

※クエン酸と同時に使用しないでください。中和反応により洗浄効果が得られません。

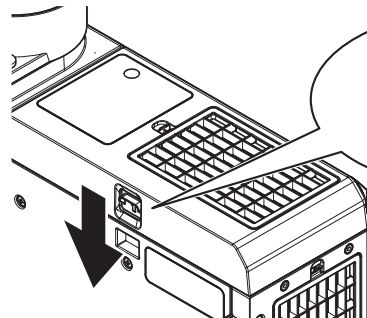
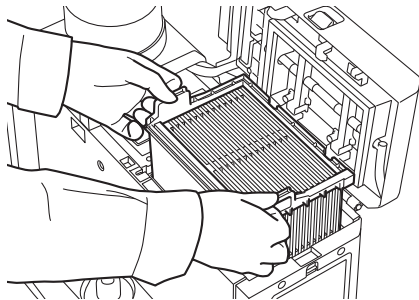
冷却エレメント、熱交換器のお手入れ(つづき)

5. 水道水でしっかりすすぎ洗ひする。(目安：2分以上)

補足

クエン酸や洗剤の成分が残ると、臭いの発生や故障の原因になります。
冷却エレメントは洗浄せずに使用を続けると寿命が短くなり交換が必要になる場合があります。
クエン酸は薬局、ホームセンター、インターネットなどでお買い求めください。
クエン酸は食品添加物で食品衛生上は無害ですが、幼児の手の届かない所で保管してください。

6. 乾燥後、熱交換器と冷却エレメントを本体に入れて、メンテナンスカバーを閉める。



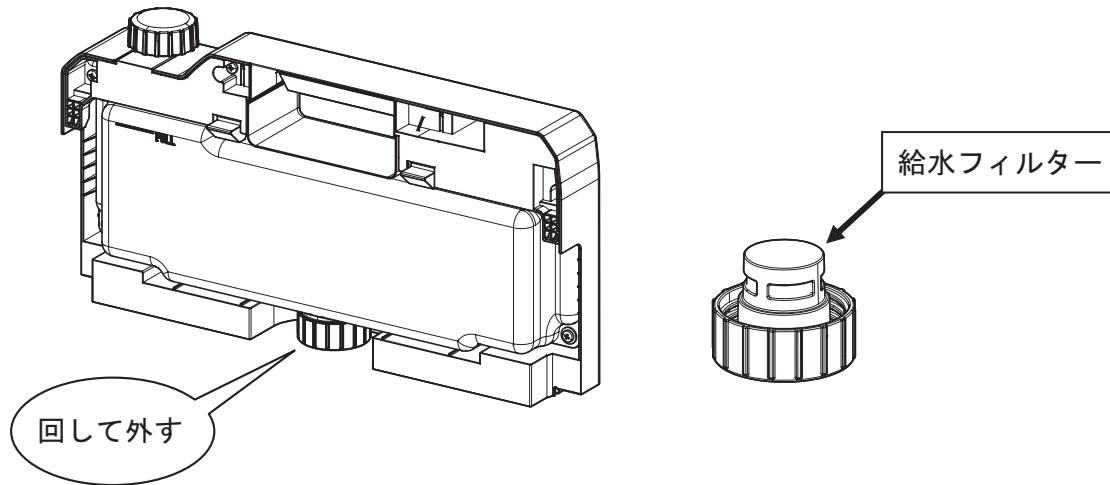
カチッと音が鳴るまで矢印方向に押しつけてロックする

補足

メンテナンスカバーはカチッと音が鳴るまで閉めてください。
完全に閉まっていない状態で本製品の電源スイッチを ON にすると、操作パネルの電源 LED ランプが点滅し冷風が出ません。

給水フィルターのお手入れ

1. 本体から給水タンクを取り外す。
2. 本体接続側の給水フィルターキャップを外し、給水フィルターを取り外す。



3. 給水フィルターキャップから給水フィルターを取り外し、ブラシ等を用いてゴミや水垢を取り除き、水道水でしっかり洗浄する。
4. 給水フィルターを給水フィルターキャップに取り付けて給水タンクに取り付ける。

重要

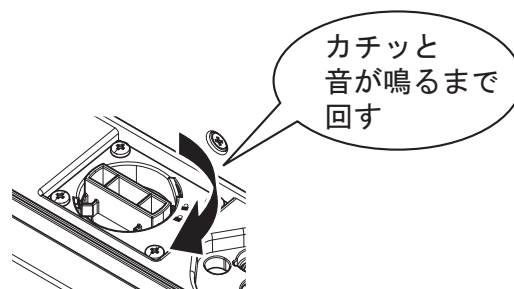
- 給水フィルターが破損していたり、目詰まりがひどかったりフィルター機能に影響を及ぼす可能性がある場合は、直ちに交換してください。本体故障の原因になります。
- 給水フィルターを給水フィルターキャップの奥の方まで確実に押し込んでから給水タンクに取り付けてください。給水フィルターの取り付けが不適切な場合、水漏れの原因となります。

インラインフィルターのお手入れ

1. 本体から給水タンクを取り外す。
2. インラインフィルターのつまみを持ち、左に回して、インラインフィルターを取り出す。



3. ブラシ等を用いてゴミや水垢を取り除き、水道水でしっかり洗浄する。
4. インラインフィルターのつまみを持ち、右に回して、インラインフィルターを取り付ける。



4. 故障かな？と思ったら

下表の処置方法が「販売店に連絡」の場合、または、処置方法に従って処置しても直らない場合は、お買い求めの販売店、または弊社にご相談ください。

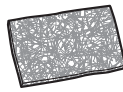

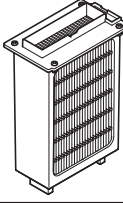
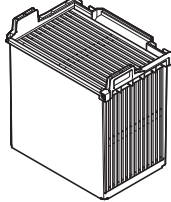

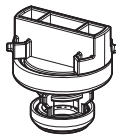
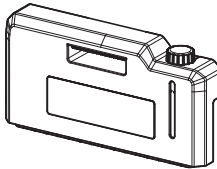
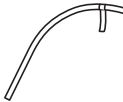
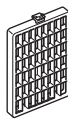
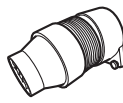
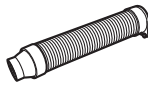
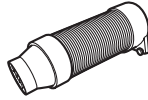
問題	原因	解決方法
全く動かない	本製品の電源スイッチが入っていない	フォークリフト等、本製品を接続する車両のキースイッチをオフにした状態で本製品の電源スイッチを入れる
風量が少ない	バッテリー容量が不足している	バッテリーを充電する
	エアフィルターや冷却エレメント、熱交換器が目詰まりしている	エアフィルターや冷却エレメント、熱交換器を清掃する
	吸込側の空間にもものが置かれている	吸込側の空間にもものを置かない
給水タンクに水が入っているのに冷風が出ない	給水フィルターが目詰まりしている	給水フィルターを清掃または交換する
	本体が傾いている	水平になるように設置する
	給水タンクと本体が確実に取り付けしていない	給水タンクの給水フィルターキャップを確実に本体の給水タンク接続口に接続する
本体からの水漏れ	本体が水平に保たれていない	本体を水平にする
	インラインフィルターが目詰まりしている※	インラインフィルターを清掃または交換する
	給水フィルターが目詰まりしている	給水フィルターを清掃または交換する
	部品の破損	販売店に連絡する
	給水フィルターが給水フィルターキャップに正しく取り付けしていない	給水フィルターを給水フィルターキャップに正しく取り付ける
振動や騒音の発生	給水タンクが空の状態で使用している	給水タンクに水を入れる（ポンプが空回りするとき音が出ますが故障ではございません）
	ファンまたはファンまわりの不良	販売店に連絡する
冷風に不快な臭いがする	循環水や循環経路に雑菌が繁殖している	給水タンクの洗浄を行い、新しい水道水に入れ替える
	冷却エレメントに黒カビなどの汚れが目立つ	冷却エレメントを清掃または交換する
	熱交換器に黒カビなどの汚れが目立つ	熱交換器を清掃または交換する
	水道水以外の水を使用している	水道水を使用する
風は出ているのに、給水タンクの水が減らない、または風の出が少ない	給排気エアフィルターに埃が付着している	給排気エアフィルターを清掃する
	冷却エレメントまたは熱交換器に水垢が付着している	冷却エレメントまたは熱交換器を清掃する
	給水フィルターが目詰まりしている	給水フィルターを清掃する
	インラインフィルターが目詰まりしている※	インラインフィルターを清掃する
音がする	ポンプの不良	販売店に連絡する
	「ジー」という音は、給水タンクが空の状態でもポンプが動いている音です	異常ではありません。給水タンクに水を入れてお使いください
	「ブーン」という音は、ファンが動いている音です	異常ではありません。いつもより音が大きい場合は、エアフィルターや冷却エレメント、熱交換器の清掃をしてお使いください

※ 水経路に異常がある際は、操作パネルの電源 LED ランプと風量弱 LED ランプが点滅します。

最新の情報は弊社ホームページでも随時公開いたします。

5. 別売品について

次の別売品は、お買い求めの販売店にご注文ください。

	品名	備考	
交換品	給排気エアフィルター	汚れが落ちにくくなったり、臭いが発生したら交換をおすすめします。	
	防塵防油フィルター	粉塵やオイルミストが舞う環境での使用を推奨します。	
	冷却エレメント	お手入れをしても汚れや水垢が落ちにくくなったり、傷みや型くずれがひどいときは交換をしてください。1年に1回の交換を推奨します。	
	熱交換器		
	給水フィルター	お手入れをしても異物のつまりや傷みがひどいときは交換をしてください。	
	インラインフィルター		
	給水タンク	部品の劣化や破損、紛失時に交換してください。	
	排水チューブ		
エアフィルターカバー			
オプション	フレキシブルダクト (標準)	フレキシブルダクトの標準的な長さのダクトです。フォークリフト等の用途でお使いいただけます。長さ：約 0.3m ~ 0.5m	
	硬質ダクト (標準)	吹出口の位置をより首元に近い位置でご使用したい場合にお使いください。長さ：約 0.6m ~ 0.7m	
	フレキシブルダクト (ロング)	フレキシブルタイプのロングダクトです。牽引車等の用途でお使いいただけます。長さ：約 0.4m ~ 1.1m	

6. 仕様

品名	PD-3100
入力電圧	DC 12 ~ 55V
定格消費電力 ^{※1※2}	強：52W / 中：30W / 弱：15W
風量 ^{※2}	強：80m ³ /h / 中：70m ³ /h / 弱：50m ³ /h
吹出方向	上下：水平～垂直上方 左右：360°（ダクトを手動調整）
給水タンク容量	約 2 L（本体一体型）
給水方式	給水タンク着脱式
連続冷風使用時間	約 5 時間 30 分 ^{※4}
運転音 ^{※1※2※3}	57 dB (A)
衝撃耐性	4.5G（非動作時、6 方向 各 1000 回） ^{※5}
振動耐性	0.5G（非動作時、6 方向 計 8 時間） ^{※5}
IP 対応	IPX4 相当 ^{※6}
外形寸法（幅×奥行×高さ）	W410 mm × D214 mm × H290 mm ^{※7}
重量 ^{※2}	約 6.3 kg（給水タンク空状態）

※1 冷風運転におけるポンプ停止時

※2 フレキシブルダクト（標準）接続のときの仕様になります。

※3 風量中でダクト吹出口の中心軸から 45 度傾けた軸上における、吹出口先端から 1m 先の位置での、参考値となります。

※4 乾球温度 35℃/相対湿度 60% の環境で風量強で用いた場合に、給水タンクが満水状態から空になるまでの目安時間です。

※5 自社独自試験条件であり、実使用環境における無破損・無故障を保証するものではありません。

※6 IPX4 規格で本体内部に浸入しうる分量を超える水が内部に浸入した場合、不具合が発生する恐れがあります。万が一不具合が発生した場合は販売店または弊社までお問い合わせください。

※7 突起部、吹き出し口含まず

7. 長期間使用しないとき（シーズンオフ対応）

1. 本体、給水タンクの残水を完全に排水してください。
2. 給水タンク接続口から本体にゴミや埃等が入らないように、給水タンクは製品本体に取り付けた状態で保管してください。
3. 1 時間程度乾燥運転を行い、本体内部を乾燥させた後、フォークリフト等、本製品を接続する車両のキースイッチを切ってください。
4. 本製品の電源スイッチを OFF にしてください。
5. 「お手入れのしかた」に従ってお手入れをしてください。
6. カバーをするなど直射日光が直接当たらないように、また、埃がかからないようにカバー等をすることを推奨いたします。

8. 保証とアフターサービス

保証について

この製品には、1 年間の無償修理保証書が付いておりますので、大切に保管してください。

なお、保証期間内に修理を依頼される場合は、購入日がわかるものを添えてください。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」をご覧ください、もう一度ご確認ください。

それでも異常のある場合は、お買い求めの販売店、または、弊社にご相談ください。

ご相談の際には、製品の異常状態と品名及び製造番号をお知らせください。

※製造番号は、製品の側面に貼付してある「ラベル」に記してあります。